

拠出金名:国連合同エイズ計画拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額				302,792千円	
国際機関等名	国連合同エイズ計画 (英文名称・略称) Joint United Nations Programme on HIV/AIDS(UNAIDS)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	厚生労働省大臣官房国際課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成20年度	302,792	2,940		1米ドル = 103円	70.0
平成19年度	312,335	2,693		1米ドル = 116円	70.0
平成18年度	322,756	2,908		1米ドル = 111円	75.4
当該拠出金の目的・用途等	UNAIDS事業計画への拠出を通じたエイズ対策の推進				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年のもの)			国際機関等の財政 (2008年度決算)		
	国名	金額 (千ドル)	拠出率(注1) (%)	当該年度の収入 290,916千ドル	
1位	オランダ	48,831	17.9	当該年度の支出 244,690千ドル	
2位	スウェーデン	43,245	15.9	次年度への繰越 46,226千ドル	
3位	米国	35,217	12.9	会計検査機関名	
4位	ノルウェー	26,355	9.7	外部監査官(External Auditor)	
5位	英国	21,076	7.7	Comptroller and Auditor General of India	
日本は15位、拠出率は1.0%			(現在の構成員の出身国:インド)		
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
WHO、UNICEF、WB等を共同スポンサーとして1996年に設立されて以来、複数の国際機関の調整により、包括的なHIV感染症/エイズ対策施策の推進を可能とするため、効率的に機能している。我が国は拠出金による財政支援を行うとともに、事業調整理事会のメンバーとして積極的に政策決定に携わり、その活動を支援している。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
エイズ対策に関連する参加国際機関(共同スポンサー)のエイズ対策を総合的に調整執行するため、関連国際機関の関連事業予算とUNAIDS事務局予算を統合した統合事業予算を2001年に導入、今後、共同スポンサーの事業を含む総合的なエイズ対策を推進する中で事業の効率化も図るとしている。組織運営プロセスの効率化のために、独立評価プロセスが進んでいる。					
邦人職員数 うち幹部以上	2人 うち 0人	当該機関全体の職員数(注2) 及び邦人職員が占める率		858人 0.2%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
UNAIDSのハイレベルを含むポストへの邦人職員の就任につき、我が国として積極的に支援を行っている。					

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(注2) 当該機関の職員数については、2009年6月現在の職員数。